

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【豊橋市立豊小学校】

1 実践テーマ	【I・III】
2 実施対象者	6年生（80人） ※セレモニーには全校児童412名参加
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 総合ア,イ,ウ・体育ウ ）</p> <p>② 行事名（ ）</p> <p>③ その他（ ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>
4 目標 (ねらい)	<p>ア 車いす体験…6年生が車いす体験をし、車いすで生活する人の不便さを実感するとともに、車いすを操り、スポーツをするパラリピアン（注）のすごさを理解する。</p> <p>イ 教材「I'm possible」の「パラリンピックって何だろう」を使用し、</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>パラリンピックについての知識を深める。</p> <p>ウ パラリンピック競技（ゴールボール）を体験したり、パラリンピアンと交流したりすることで、パラリンピックへの興味関心を高める。</p> </div> </div>
5 取組内容	<p>ア 車いす体験</p> <p>3人1組でグループをつくり、交代で車いすに乗って校内の様々な所を移動したり補助をしたりする経験をした。それを通して車いすで移動するには不便な箇所がたくさんあることに気づき、車いすで生活する人達の不便さに触れることができた。また、車いすに乗ったままキャッチボール等を体験したことでパラリンピアン（注）のすごさが体感できた。</p> <p>イ パラリンピックへの理解</p> <p>教材「I'm possible」の「パラリンピックって何だろう」のDVDを視聴し、パラリンピックの意義やパラリンピックについての知識を深めた。</p> <p>ウ ゴールボール体験とパラリンピアンとの交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教材「I'm possible」の「ゴールボールをやってみよう」を使って、ゴールボールの行い方の学習をし、体育の時間にゴールボールを体験した。非常に楽</li> </ul>

	<p>しんで活動することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英会話の時間に、歓迎の挨拶の言葉やパラリンピック選手と交流できる会話について学習した。</li> <li>・リトアニアのパラリンピック選手団が来校した際にゴールボールのパラリンピックメダリストとゴールボールで交流した。</li> </ul>
<p>6 主な成果</p>	<p>リトアニアのパラリンピック選手団来校の際に全校で歓迎セレモニーをおこなった。セレモニーに向けて、歓迎の横断幕を作成したり、歌のプレゼントをしたりしたことで全校児童の国際交流に対する意欲を高めることができた。また、</p>  <p>セレモニーの中でリトアニアの様子やパラリンピックについて学習する時間を設けたことで、リトアニアという国に親しみをもつことができたり、オリンピック・パラリンピックへの関心が高まったりしたことが児童の事後の感想からも分かった。</p> <p>【児童の感想】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ オリンピックやパラリンピックの時には、日本だけでなくリトアニアの応援もしたいと思います。</li> <li>○ 6年生が英語で歓迎の言葉を言っていてカッコよかった。私ももっと英語がしゃべれるようになりたいです。</li> <li>○ リトアニアは寒いみたいだけどきれいな場所だから、自分もいつか行ってみたいです。</li> </ul>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>市役所に協力をいただき、豊橋市と交流があるリトアニアのパラリンピック選手団に来校をしてもらうことができた。子ども達は非常に喜び、いい経験になった。やはり、子ども達にとって「本物」と触れあう機会は大切であると感じた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>学校予算のない中、消耗品であるリトアニア国旗やゴールボールのボール、アイマスク等も市役所で用意してもらうことができ、非常に助かった。来年度以降は計画的に予算措置をしていかないといけない。</p> <p>選手団の来校が決まってから当日までの日程が短かったため、各学年の事前学習が不十分であった。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>来年度もリトアニアのゴールボールの選手団が来校する予定である。5年生はゴールボール対決に向けて練習を始めている。今後、道徳や総合、行事等を関連付けてオリパラ教育のカリキュラムを作成していきたい。</p>